

32 むらかみ
村上

(新潟県村上市)

注目ポイント！

城下町のたたずまい(武家町・寺町・町屋)を活かした観光地づくり。
町屋地区では、住民有志が主体となって観光振興を推進。

「町屋の人形さま巡り」及び「町屋の屏風まつり」来訪者が
約8万人から約14万人に！
(平成13年) (平成17年)



町屋の屏風まつり

コラム

村上町屋商人会会長として就任以降、町屋を活かしたイベントの開催、町屋の外観再生、城下町の景観再生等、城下町村上の観光振興に尽力している。

本業の鮭加工業における「鮭のまち」村上の名声とともに、観光地としての名声も全国に広がっている。



観光カリスマ 吉川 真嗣氏
(味匠喜っ川 専務取締役)

これまでの経緯

- 平成10年(1998) 村上町屋商人会が発足し、城下町村上絵図マップを作成する。
- 平成12年(2000) 第1回「町屋の人形さま巡り」を開催する。
- 平成13年(2001) 第1回「町屋の屏風まつり」を開催する。
- 平成14年(2002) 「黒堀プロジェクト」の第1期工事が開始される。
JR東日本が「SLひな街道号」の運行を開始する。
- 平成16年(2004) 「町屋の外観再生プロジェクト」が設立される。
町屋再生プロジェクト第1号「早撰堂」が完成する。
- 平成17年(2005) 町屋再生プロジェクト第2号「山上染物店」が完成する。
NPO法人「村上観光ルネッサンス」が設立される。
- 平成18年(2006) 町屋再生プロジェクト第3号「池田家」が完成する。
エアポートライナー「むらかみ」の運行を開始する。
市内循環バス「城下町・村上ルネッサンス号」の運行を開始する。

主な取り組み

町屋の人形さま巡り・町屋の屏風まつり

商店街の有志で組織される「村上町屋商人会」は、「町屋の人形さま巡り(平成12年～)」及び「町屋の屏風まつり(平成13年～)」を開催。各町屋では、観光客に人の住む町屋の内部を公開するとともに、江戸期の雛人形・屏風等の展示物について、住民や学生ボランティア等による説明を実施し、観光客の増大に貢献。



町屋の人形さま巡り

町屋の再生

アーケードやアルミサッシ等により近代化された町屋の外観を、昔ながらの格子や板戸に戻すため、市民の寄付等による基金(10年計画で1億円)を創設(「町屋再生プロジェクト」。平成16年～)。平成18年現在、この基金を活用した3軒の町屋が再生を果たしており、地域に存在する町屋に「町屋再生デザイン」を提示し、更なる景観再生を推進。



町屋再生第1号「早撰堂」

黒塀プロジェクト

歴史的景観の再生を図るため、市民のボランティア活動や市民からの寄付金等の協力を得て、ブロック積みの塀の上に、黒い板を張り付けて、かつての黒塀に戻そうという取り組み。平成18年現在、約270メートルの黒塀が完成。



市民による黒塀の製作

二次交通の取り組み

地域の宿泊事業者、交通事業者の協力の下、NPO法人村上観光ルネッサンスが、新潟空港と村上市内を結ぶ乗合タクシー「エアポートライナーむらかみ」、村上駅と瀬波温泉等を結ぶ市内循環バス「城下町・村上ルネッサンス号」を運行し、観光客の移動を支援。



城下町・村上ルネッサンス号

問い合わせ先

村上市商工観光課

Tel : 0254 - 53 - 2111

<http://www.city.murakami.niigata.jp/>

村上市観光協会

Tel : 0254 - 53 - 2111

<http://www.mu-cci.or.jp/kanko/>